

開館10周年記念企画展

没後50年 芥川賞作家



柏原

Hyozo

KASHIWABARA

兵三展

2022年9月24日(土)～12月5日(月)

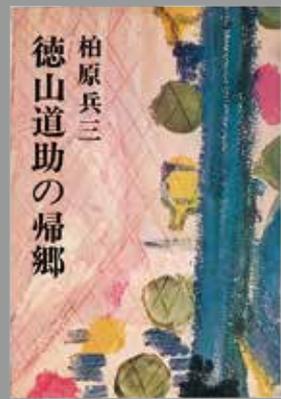
開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで) 休館日／毎週火曜日、9月26日(月)、11月4日(金)、11月24日(木)

観覧料／一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円(裏面をご覧ください)

※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

主催／高志の国文学館 共催／北日本新聞社、北日本放送 特別協力／柏原光太郎



『徳山道助の帰郷』新潮社 1968年



『兎の結末』文藝春秋 1968年



『長い道』講談社 1969年



『ベルリン漂泊』文藝春秋 1972年

新資料約5600点。作家の全記録が富山へ帰郷する。

高志の国
文学館

KOSHINOKUNI
Museum of Literature



高志の国文学館 開館10周年

感動との出会い。

開館10周年記念企画展

没後50年
芥川賞作家

柏原兵三展

Hyozo KASHIWARA

物が豊富過ぎる程ある現代に、外套に不自由した時代の話は、もしかすると童話のメルヘンような味わいを持つのではないか（「外套より」）

陸軍中將であった母方の祖父を描いた「徳山道助の帰郷」で第58回芥川賞を受賞し、「長い道」で東京を離れ、父の故郷の富山県入善町に疎開した少年期の体験を描いた柏原兵三（1933～1972）。ドイツ文学を学び、留学し、翻訳を手がけたことにより培われたその筆致は、自らの体験と親族の人生に取材し、戦争を経て、人びとが失ったものと日々の暮らしを丹念に描き、日常にひそむひそみや奇妙さに目を凝らし、ユーモアに満ちた穏やかで強い生命力を感じさせます。その作品は、38歳の若さで世を去って没後50年を経た現在においても、不安の時代にあつてどのような生きていけばよいかを考える道を開いてくれます。

今回の企画展では、このたび新たに寄贈を受けた約5600点の資料から、芥川賞作家柏原兵三の全貌を紹介し、自筆原稿、書簡、日記、写真、画家を目指そうと考えたこともあるという絵画など、初公開資料を含め、柏原兵三が生きた時代とその作品を紹介します。



東京大学教養学部の友人たちと創刊した同人雑誌『運河』（柏原兵三表紙画）



東京大学大学院修士課程ドイツ文学専攻の友人たちと創刊した同人雑誌『NEUE STIMME』



ドイツ留学時代の下宿先を描いた絵画



「長い道」原稿



柏原兵三 1953年
日比谷高校時代の友人たちと訪れた戸隠にて

関連イベント

1 記念講演

日比谷高校同級生が語る
柏原兵三の思い出と「星ヶ丘年代記」の時代

講師 藤井宏昭氏（独立行政法人国際交流基金顧問・元駐英大使）

日時 10月29日（土）14:00～15:30

会場 当館 研修室 101

◎申込必要 ◎定員 54名 ◎参加無料

2 特別映画上映会

「少年時代」（東宝 1990年）

日時 12月4日（日）14:00～16:00

会場 富山県教育文化会館ホール

◎申込必要 ◎定員 300名（座席指定あり） ◎参加無料

3 高校生ふるさと文学トークと講演

柏原兵三「長い道」小説「少年時代」原作、藤子不二雄（少年時代）漫画、篠田正浩監督「少年時代」映画と、その舞台となった場所から今、何を感ずるか！

高校生と大学教員によるトークセッションと講演会を行います。

参加 県内高校生 4名

司会 遠藤稔氏（富山県芸術文化協会理事）

講師 山田夏樹氏（昭和女子大学人間文化学部）

講演題 柏原兵三「長い道」と藤子不二雄（少年時代）

「闖入者」との「友情」

日時 10月22日（土）13:30～15:30

会場 当館 研修室 101

◎申込必要 ◎定員 30名 ◎参加無料

4 柏原兵三出演ラジオ録音上演会&担当学芸員による展示解説

柏原兵三出演「朝のひと言」（ラヂオ放送 1968年）より、自身が語る「私の読書法」、「作家について」など、貴重な肉声（約15分）をお聞きいただけます。

日時 ①10月8日（土）②11月19日（土）

③11月27日（日） 各回 14:00～（約60分）

会場 当館 研修室 101

◎申込必要 ◎定員 54名 ◎参加無料

◎展示解説後、小さな朗読劇「長い道」

（出演 中嶋圭子氏 富山県立図書館館長、永井清彦 当館事業課長）を行います（約30分 申込不要 先着54名）

「申込方法」電話・FAXにて、イベント名（複数可）と氏名、電話番号を当館までお知らせください。（2）のみ、アツナビでもお申込いただけます。座席状況は、アツナビでのお申込に限りご確認いただけます。 ※定員に達し次第、募集を終了します。 ※FAXでのお申込で、定員に達してご参加いただけない場合のみ当館からご連絡いたします。

本展覧会では、新型コロナウイルス感染症予防のため、以下の点についてお守りいただくようお願い申し上げます。◎マスクを着用し、咳エチケットの順守にご協力ください。◎咳や発熱など、風邪の症状がみられる方は、ご来場をお控えください。当館では万全の感染予防措置をおこない、皆様のご来館をお待ちいたしております。

感染症予防対策

高志の国文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature

〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
TEL.076-431-5492 FAX.076-431-5490
<https://www.koshibun.jp/>

次回企画展予告

開館10周年記念企画展
「没後50年 川端康成展」(仮称)
2022年12月24日～2023年2月27日

高志の国文学館では、Facebook、Twitter、Instagramで最新情報を発信しています。ぜひフォローしてください！



利用のご案内

〈開館時間〉9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)

〈休館日〉毎週火曜日

9月26日(月)、11月4日(金)、11月24日(木)

〈観覧料〉一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円

〔お求めは高志の国文学館、アツナビで。文学館受付にてチケットに引き換えます。〕
※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。
※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

交通のご案内

- JR・あいの風とやま鉄道 富山駅南口から／◎市内電車「富山駅」のりばから大学前行または環状線「県庁前」下車、徒歩5分 ◎徒歩15分 ◎コミュニティバスまいどはや(西ルート)「富山中部高校前」下車、徒歩2分
- 富山空港から／◎タクシー 約20分
- 北陸自動車道富山ICから／◎自動車 約20分

